

しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第31号

発行日：平成27年10月

〒722-8503

尾道市新高山3丁目1170-177

tel: 0848-47-1155

fax: 0848-47-1004

<http://www.onomichi-hospital.jp/>

院内広報誌

第31号

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

副院長 大枝 忠史

皆様、こんにちは。猛烈な暑さが続いていたかと思えば、いつの間にか秋の長雨の季節となりました。一息つかれている方も多いことでしょう。この冊子がお手元に届く頃にはさわやかな秋晴れの頃となっているでしょうか。しかし勝手なもので、あの暑さでさえ過ぎ去ってしまうと寂しいような気がいたします。

今回の「しまなみ第31号」では当院救急診療の現状、呼吸器内科外来について、漢方外来新設のお知らせ、放射線科部門の紹介、市民公開講座の内容などが掲載されています。ご一読をいただき、当院の現状やスタッフの素顔、新しい事柄への取り組みに触れていただければ幸いに存じます。本文にございますように、夜間救急診療所の院外への移設から約1年半が経過し、このことは市民の皆様にも周知されて来ていることと存じます。しかし二次救急、救急搬送の患者さんにつきましては、移設以前と同様、あるいはそれ以上、可能な限り受け入れを続けており、救急外来のスタッフも非常に忙しい日々を過ごしております。

さて当院では今年度、新たな事業管理者をお迎えし、院長と看護部長が交替するという、病院職員にとっては大きな出来事がありました。新しい体制の下で気持ちを締めつつ、地域の急性期病院の一つとして高度で安全な医療を提供すべく職員一同努力いたしております。同時に、かかりつけの先生方や在宅医療・介護スタッフの方々の大きなご助力をいただきながら、全ての患者さんに安心してご自宅へ帰っていただくことを目指しております。また、市民公開講座、オープンカンファレンス、病院祭、文化祭等の行事を催し、地域との連携や親睦を深め、これまで以上に地域に開かれた病院でありたいと願っております。

現在、地域医療構想・新公立病院改革プランなど、国を挙げての大きな流れがあります。人口構成の変化を踏まえた上で地域に必要な医療の質と量を予測すること、そしてそれに沿った改善策が求められています。当院もこれまで以上の荒波に揉まれることが予想されますが、私たちは市民病院としての役割と立場を自覚し、現場では目の前の個々の患者さんに満足いただくことを第一として職務に励む所存です。ご指導とご支援をいただければ幸いに存じます。

救急医療について

内科 診療科長 水戸川 剛秀

皆様、こんにちは。救急部門管理運営委員会委員長の水戸川です。平素より当院の救急医療にご理解とご協力をたまわり、心より感謝申し上げます。

わが国は未曾有の少子高齢化社会に突入しつつあり、当地区はさらに数年から10年先の未来を先取りしているような、あまり喜ばしくはないモデル地区とも称されます。

当院医師も例外ではなく、平成16年度から開始された新臨床研修制度に起因する医師不足の影響で、大学への医師の引き揚げが続いたため救急医療の維持が困難となり、平成20年から医師会の先生方のご支援をいただきつつ、抜本的な改善を模索してまいりました。そのひとつとして尾道市の公的救急医療機関として当院に併設されていた一次救急医療対応の夜間救急診療所が、2014年4月1日より総合福祉センターの敷地内に分離されました。そのことによって当院は二次救急に特化することが出来ようになり、救急車受け入れ不可の状態を減少させ、さらには常勤医の負担軽減、さらには将来の医師確保にもつながるものと期待しています。

この1年間新たな尾道の救急体制発足後の当院の現状について報告させていただきます。

年度別救急車搬送件数(医事統計より)につきまして以下の表1をご参照ください

年度別救急車搬送件数(年間)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
時間内(件)	1,073	1,120	1,154	1,115	1,202
時間外(件)	1,048	1,060	1,094	1,181	1,796
夜間救急(件)	693	754	710	582	-----
総数(件)	2,814	2,934	2,958	2,878	2,998

表1

26年度より当院から夜間救急診療所が総合福祉センター内に分離独立したため、表1の26年度夜間救急が空欄となっています。二次救急を含む救急患者対応については過年度と比較しても増加こそしていますが、減少はしておりません。

次に尾道市立市民病院の年度別平均時間外患者数について表2をご参照ください。

年度別平均時間外患者数(月平均)

	24年度	25年度	26年度
夜間救急診療所月平均患者数(人)	373	306	135
市民病院時間外月平均患者数(人)	407	412	493
平均月患者数(人)	780	718	628

表2

24年度、25年度は夜間救急診療所が院内併設であったため平均で700名以上の時間外患者が当院へ来院されていましたが、26年度から平均で100名あまりの減少が認められます。これは軽症患者が分離独立した夜間救急診療所を受診され、また病院の救急担当医が救急車対応に時間を当てることのできるようになったためと考えております。

当院は二次救急病院として、救急車を可能な限り受け入れ救急難民が発生しないように地域医療に貢献して行く所存です。ただ当院だけの努力では限界があります。

救急医療は、行政側が深く関わる事業です。当地区としては、尾道市(行政、救急担当機関)が中心となり、尾道市医師会、JA尾道総合病院、公立みつぎ総合病院、尾道市立市民病院、近隣の医師会などが参画している「尾道の救急を考える会」が21世紀の望ましい地元の実情に沿った救急医療体制の構築を推進する、垣根を取り払った組織となり、具体策を検討・立案するプロジェクトが推進されることを願ってやみません。

呼吸器内科外来を担当します



尾道市病院事業管理者 片岡 幹男

当院呼吸器内科を担当しておりました村上斗司医師が7月30日をもって転任いたしました。

そのため診療日を変更し、現在、岡山大学病院血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科より派遣された加藤有加助教が月曜日に、大橋圭明助教が金曜日に外来診療を行っております。

2人に加えて、私も水曜日に呼吸器内科外来を担当致します。

では、呼吸器内科外来はどんな所かを簡単に説明したいと思います。

呼吸器内科とは

咳がなかなか治まらない、ゼーゼーという咳をする、痰が出る。ちょっと歩いたり階段を昇ったりすると息切れがする。胸のあたりが痛む、血痰がでる。長い期間タバコを吸っている。睡眠中にいびきの音がひどく、呼吸が止まっていると言われた。健診やドックで胸部レントゲンで異常な影が写っていると言われた。このような症状がある方は気管支・呼吸器・肺・胸膜などになんらかの異常がある可能性があります。このような症状に思い当たる方は、一度呼吸器内科専門外来を受診されることをお勧め致します。

当院呼吸器内科外来で診療する主な病気は次の様なものがあります

- ・喘息：気管支喘息、咳喘息、花粉症など
- ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)：肺気腫、慢性気管支炎、禁煙外来
- ・呼吸器感染症：肺炎、インフルエンザ、びまん性細気管支炎
- ・呼吸器腫瘍：肺癌、肺腫瘍
- ・塵肺：溶接工肺；石綿肺、石綿関連胸膜疾患、中皮腫、石綿検診
- ・間質性肺疾患：肺線維症、膠原病肺
- ・アレルギー性肺疾患：過敏性肺炎、薬剤性肺炎、好酸球性肺炎、サルコイドーシス
- ・慢性呼吸不全：在宅酸素療法

当院では呼吸器疾患診断のため、コンピュータX線撮影、マルチスライスCT(320列)、MRI、核医学検査、超音波検査などの画像検査や肺機能検査が実施出来ます。また気管支鏡検査、胸腔鏡検査などの特殊検査も実施しております。

肺・気管支などの呼吸器の病気ではないかと心配な方は気軽に御相談ください。



漢方外来始めました



内科 医長 杉山 晃一

私には、漢方を診療に取り入れようと思うきっかけになった印象的な出来事があります。

当時私は、岡山大学病院の膠原病内科で専門外来をしていました。膠原病というのは、専門外の医師にはなかなか手を出しにくい疾患領域かと思います。実際に大学病院で診療していると、「いろいろ検査を試みましたが原因不明なので、膠原病なのではないかと思います」といった紹介が少なくありません。

そういった形で紹介されてくる症例が実際に膠原病である頻度は決して高くないのですが、そこで「膠原病ではありませんので、我々の治療対象にはなりません」と言ってしまうと、患者さんは行き場を失うことになります。

「あの日」私の外来を訪れた患者さん…診察室に入るや泣き崩れた女性も、「最後の砦」として受診したという感じでした。長年原因不明の全身疼痛に悩まされ整形外科やペインクリニックなどを転々とし、○リカ、○ラムセットといった西洋薬は一通り使われていました。

自己抗体や炎症反応を始めとした検査に全く異常なく、特異的な身体所見もありません。診断基準を拡大解釈して例えば「線維筋痛症」などと名付けてみたところで、ガイドラインなどに記されている一通りの薬は使われていて治療選択肢がありません。

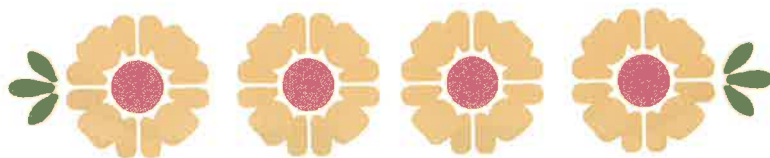
困り果てて「膠原病ではありませんので…」の言葉が口元まで出かけたとき、ちょうど目にとまったのが漢方の教科書でした。「実は、最近漢方薬を勉強しているのですが…」と切り出してみたところ、患者さんも薫にもすがる気持ちだったので、「やってみてください」とのことでしたので、机の上に教科書を広げ、患者さんの体質や症状に合っていそうなものを一緒に探したのです。

そうして選ばれた「十全大補湯」を処方したところ、数週間後には彼女の疼痛はすっかりよくなり、数ヶ月後には廃業して終診となりました。

これには処方した私自身が驚きで、「こんなことが十にひとつ…いや!百に1度でも起こるのであれば、これを治療の選択肢に加えておかない手はない」と、その後は本格的に漢方、そしてその源流にある中医学を学ぶようになりました。

そうして少しずつその本質に触れる機会が増えると、それまで東洋医学に対して漠然と持っていた「有効性や即効性に乏しい」、あるいは「理論不足」といったイメージがどんどん崩されていったのです。

東洋医学には、西洋医学とはまた違った診療パラダイムがあり、相互に補い合えるものだと思います。患者さんの受診先や先生方の紹介先の新たなオプションのひとつとして、当院の漢方外来も加えていただければ幸いです。





こんにちは、放射線科です



私たち診療放射線技師は、他の医療専門職と比べてあまり知られていない職業かもしれませんが、医師の指示のもと診断・治療のために放射線を取り扱い、現代の医療には欠かせない専門職であり、とても重要な役割を果たしています。

診療放射線技師の仕事は

- 一般撮影（よくいわれるレントゲン）
- 透視検査（バリウムを使った胃透視など）
- 血管撮影検査（造影剤を使用して血管の形や血流の状態を撮影する）
- CT検査（放射線を利用して体の断面像や3Dを作る）
- MRI検査（磁気を利用して体の断面像や3Dを作る）
- RI検査（放射線医薬品を投与して体内から出てくる放射線で画像を作る）

被曝線量や環境放射線量を測定する
放射線管理

X線や電子線を病巣にあてて治療する
放射線治療

また、私達はそれぞれの分野で専門性を高めるため、認定資格を取得しています。

資格名	検査名等	人数
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	マンモグラフィ	2名
放射線治療専門放射線技師	放射線治療	1名
放射線治療品質管理士	放射線治療	1名
磁気共鳴専門技術者	MRI検査	1名
X線CT認定技師	CT検査	3名

放射線科スタッフ



患者さんによく聞かれる質問です

【Question】 1ヶ月の間に何回も検査してこんなに放射線をあてられても大丈夫なの？

【Answer】 放射線検査は、検査の利益と放射線のリスクを比較し、患者さんにとって検査の利益が十分に上回る場合にだけ行います。放射線量も必要最小限で検査を行っていますので安心して下さい。



市民公開講座を開催しました

9月6日(日)、しまなみ交流館において、市民公開講座を開催いたしました。

今年の公開講座は「痛み」をテーマとした3つの講演で構成し、初めに、特別講演として、東京大学名誉教授 花岡一雄医師のお話を伺ったあと、当院の整形外科診療科長 廣岡孝彦医師、つづいて、当院のがん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師である渡辺陽子看護師が講演をいたしました。

講演の前には、招待演奏として栗原小学校コーラス部とブラスバンド部の演奏が披露され、講座に花を添えてくれました。

特別講演：痛みを知ろうー高齢者社会を楽しく過ごすためにー

東京大学名誉教授 花岡 一雄

特別講演として、ペイン・クリニックを専門とされている、尾道市出身の東京大学名誉教授 花岡一雄医師をお招きし、痛みのメカニズム、緩和の方法など、たいへん興味深い内容でご講演いただきました。

花岡医師は、「ためしてがってん」や「たけしの健康エンターテイメント!みんなの家庭の医学」などの番組にスーパー・ドクターとして出演されたことがあり、舞台上のスクリーンに、番組出演時の映像を映しながら説明される一幕もありました。



●以下に、当院の医師、看護師による講演内容を紹介します。

骨・関節・神経の痛みー痛みの原因を知り、痛みを和らげようー

尾道市立市民病院整形外科診療科長 廣岡 孝彦



全国には慢性疼痛で悩んでいる患者さんがたくさんおられます。この慢性疼痛とは、3か月から6か月以上続く痛みのことを言います。腰痛が一番多く、五十肩、片頭痛、関節痛と続きます。このような痛みに対して、多くの方がやる気をなくし、いつも疲れやストレスを感じています。私たち医療従事者にとりまして、痛みに対する取り組みは重要な課題になってきました。もちろん慢性疼痛の患者さんの半数以上が「しっかり治療をしたい」、「新しい治療を試したい」と考えていますが、「一生付き合うもの」とあきらめている方もたくさんおられます。痛みは全くなければよいのでしょうか。

痛みは私たちの体にとっては必要です。なぜなら危険から身を守り、身体内に異常が生じたことを教えてくれる警告信号でもあります。多くの痛みは1か月以内で改善しますが、適切な治療が行われないと3か月以上続く痛み、いわゆる慢性疼痛の状態になります。「もう治らないのだろうか」、「歩けなくなるかもしれない」など不安が重なると悪循環に陥り、新たな痛みを引き起こす破局的思考に至ることはよくあることです。痛みの原因を知ること適切な対処法がわかれば、不安や恐怖から解放され、楽に痛みと向き合っていくことが可能になります。ここが痛みに対する治療の始まりです。

痛みには怪我などに代表される侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛があります。骨折、捻挫、打撲や五十肩、関節リウマチなどの関節炎、変形性関節症は侵害受容性疼痛の原因です。まずは安静、熱感があれば冷やします。湿布や塗り薬を用い、痛み止めと呼ばれる消炎鎮痛剤を服用します。多くは痛みが改善しますが、日常生活に支障が生じるような機能障害があれば手術を行います。一方ビリビリ、ジンジン、チリチリと表現される「焼けるような」、「うずくような」、「引き裂かれるような」痛みは神経障害性疼痛の特徴です。帯状疱疹による肋間神経痛や糖尿病による神経障害はよく知られていますが、整形外科でも頸髄症や腰部脊柱管狭窄症、手がしびれる手根管症候群は神経障害性疼痛を引き起こします。近年新しいお薬が開発され使われていますが、痛みが改善しても麻痺が進行する場合がありますので、注意深く経過を見ていく必要があります。

最後は痛みに対するお薬のお話です。外国ではアセトアミノフェンがよく用いられていますが、日本では処方できる量が海外と比べて少なく、子供向けの薬という印象がありました。最近では海外と同じ量を処方することが可能になりましたが、代表的な副作用として肝機能障害がありますので、注意が必要です。

NSAID(非ステロイド性消炎鎮痛剤)は、もっともよく使用されている痛み止めです。炎症を抑えますが、消化管や腎臓に障害を起こすことが問題です。長期間服用しますと6割以上の人に胃潰瘍やびらんなど上部消化管障害が生じ、アメリカではNSAIDによる消化管障害で1年間に16500人が亡くなられています。消化管や腎臓に作用しない比較的安全なNSAIDもありますが、下部消化管障害は起こりますので、長期間の服用は避けましょう。NSAIDが効きにくい場合には、弱オピオイドと呼ばれる鎮痛剤トラマドールが用いられます。この薬は神経障害性疼痛にも有効とされていますが、副作用に吐き気、食欲不振、便秘などがありますので、制吐剤や緩下剤を合わせて飲みましょう。プレガバリンは俳優の武田鉄矢さんで有名な神経痛に効くお薬です。神経経路において痛みを伝える物質の過剰放出を抑えることで痛みを和らげますが、眠気、めまい、ふらつきなどが出やすいので、自動車の運転は控えてください。

「痛いのは当たり前。我慢してください。」と言う先生にはレッドカード。「疼痛管理を受けるのは基本的人権である」と国際疼痛学会で宣言されています。痛みを和らげるには、痛みの原因を知ることが大切です。痛みで悩んでおられる患者さんは、一度整形外科を受診しませんか。」



がん患者さんの苦痛に寄り添うケア

がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師 渡辺 陽子

急性期病院と地域が十分な連携を図り、病院でも在宅でもどの療養場所でも、またどの治療時期においても、緩和ケアが適切に提供されることで、がんになっても安心して患者さんとご家族が暮らせるのではないかと考えます。また、患者さんを中心に、それぞれの職種の専門性が発揮されたチーム医療が、QOL改善と予後改善につながるのではないかと考えます。

尾道市立市民病院は、今後もがん患者さんのつらい思いに寄り添い、支援していきたいと思えます。



栗原小学校コーラス部



栗原小学校ブラスバンド部



第28回厚友会文化祭開催のお知らせ・展示作品の募集について

今年度も当院にて、文化祭を開催いたします。

文化祭は、病院職員のクラブ活動の成果発表や、患者さん・地域の皆様との交流のために行っているものです。お気軽にご来場下さいますようお願いいたします。

1. 「日程・内容」

日 程：平成27年11月16日(月)～17日(火)

場 所：尾道市立市民病院 新館4階 大会議室

内 容：作品展示・お茶会・アロママッサージ等を予定

2. 「作品展示物の募集」

地域の皆様から、文化祭で展示する作品を募集します。ぜひ、ご応募ください。

募集内容：絵画・書・陶芸・手芸・写真・生花など、ご自身で作成されたもの。

※壊れやすいもの・高価なもの等は管理しかねますのでご遠慮下さい。

募集期間：11月12日(木) 17時00分まで

【お問い合わせ・お申し込み】

尾道市立市民病院

医事課 担当：岩田

TEL:0848-47-1155

(内線119)

尾道市立市民病院 科別診療割表

【地域連携室】 TEL : 0848-47-1170 FAX : 0848-47-1171 【代表】 TEL : 0848-47-1155 FAX : 0848-47-1004

2015/10/1現在

科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
 休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

地域連携室
 代表番号 0848-47-1170
 0848-47-1170
 0848-47-1155
 (代)

区分	科別	月	火	水	木	金	備考	
前	内科	1 診	城戸 雄一 内科全般・糖尿病	水戸川 剛秀 内科全般	金尾 浩一郎 腎・内科全般	水戸川 剛秀 内科全般	松下 裕一 内科全般・糖尿病	
		2 診	杉山 晃一 内科全般・免疫疾患	開原 正展 腎・高血圧	開原 正展 腎・高血圧	金尾 浩一郎 腎・内科全般	杉山 晃一 遠方外来	
		3 診			松下 裕一 内科全般・糖尿病	城戸 雄一 内科全般・糖尿病		
		4 診			杉山 晃一 内科全般・免疫疾患			
		5 診	藤野 寿幸			山脇 泰秀	山脇 泰秀	
	総合診療科	1 診	西山 悠紀	内科担当医			藤澤 諭	
	呼吸器内科	1 診	加藤 有加		片岡 幹男		大橋 圭明	
	消化器内科	1 診	松本 栄治	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 敏生	
		2 診		宮部 敏生				内科3診で診療
	循環器内科	1 診	岩崎 淳	園光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
		2 診	小林 博夫					
	神経内科	診療		岡本 美由紀			逸見 祥司	予約制
	外科	1 診	中井 肇 肝・胆・膵・消化器 外来担当医	宇田 征史 消化器・鏡視下	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	村田 年弘 外科全般	
		2 診		上塚 大一 消化器・ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
	血管外科	1 診		越智 吉樹		越智 吉樹		
	乳腺外科	1 診					下妻 昇二郎 (乳腺外来)	9:00~12:00(予約制)
	整形外科	1 診	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一 迫間 巧将	廣岡 孝彦(予約)	藤井 淳一 木曾 洋平	廣岡 孝彦(予約)	
		2 診		岡田 卓巳	迫間 巧将	鈴木 美穂	迫間 巧将	
		3 診	藤井 淳一		岡田 卓巳		鈴木 美穂	※1 鈴木(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)
		4 診	木曾 洋平					
		5 診		装 具			装 具	
	形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	
	小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※2	井上 直樹	井上 直樹	※2 第3水曜日休診
	脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂	
		2 診					岩戸 英仁	
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一 大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一 大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一 大村 裕一		
皮膚科	1 診	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり	櫻野 かおり		
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	別宮 謙介	大枝 忠史		
	2 診	別宮 謙介	大枝 忠史	別宮/河田	大枝 忠史	河田 達志		
耳鼻いんこう科	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり			広島大学病院より	
眼科	診療	諫見 久恵			諫見 久恵	諫見 久恵	9:00~14:00	
放射線科	画像診断	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久	三船 啓文 正岡 佳久		
	治療		片山 敬久(予約)					
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘		
後	内科	検診	検診	検診	検診	検診	※3 第2・4水曜日	
	総合診療科			フットケア外来※3		山脇/巻橋 肝臓専門外来 (中井/河合)		
	消化器内科	検査	検査	検査	検査	検査		
	循環器内科	禁煙外来(岩崎)	ペースメーカー外来※4		心カテ	経食エコー	心カテ	※4 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00
	循環器内科検査	心カテ	検査・診療		検査	検査		
	血管診療センター	手術	検査	手術	手術	手術	第2・4月曜日	
	血管外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	乳腺外科	手術	手術	手術	手術	手術	松岡(月1回/予約制)	
	整形外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	形成外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	小児科	検査	乳児検診	小児科専門外来 (塚原)※5	小児科専門外来 (塚原)※5	神経外来(林)※6	循環器外来(脳)※7	※5 第2・4(14:00~16:30) ※6 第1木曜日 ※7 第4金曜日(偶数月)
		予防接種	栄養指導					
	脳神経外科	検査	手術	検査	手術	検査	検査	
	産婦人科	頭痛外来(土本)		脳ドック外来(土本)	脳ドック外来(土本)			14:00から
			母乳外来 1ヶ月検診	母乳外来 母親学級(第3週)	母乳外来 母親学級(第3週)	母乳外来 1週間検診	1週間検診	
	皮膚科	検査	手術	手術	手術	検査	検査	
	泌尿器科	手術	手術	手術	手術	検査	検査	
	耳鼻いんこう科	手術	手術	手術	手術	検査・予約外来	検査	
	眼科	睡眠時無呼吸外来(佐々木)						
	眼科	諫見 久恵				諫見 久恵(予約)	諫見 久恵	14:00まで
		画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	
	放射線科	血管造影	血管造影	血管造影	血管造影	血管造影	血管造影	予約制
		治療(藤井)				治療(藤井)		
	歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制
	専門外来	禁煙外来 ストーマ外来 (第2・4週) 頭痛外来	ペースメーカー外来 (第1・2週) 睡眠時無呼吸外来	フットケア外来 (第2・4週) 乳腺外来 小児科専門外来 脳ドック外来	肝臓専門外来 小児神経外来 (第1週)	乳腺外来(午前) 小児循環器外来 (偶数月/第4週)		予約制

1. 休診日・・・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

2. 診療受付時間・・・午前8時30分から午前11時まで



病院案内図